



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

代表者名:代表取締役社長 菅野 隆二

(コード番号:6090 東証マザーズ)

問合せ先:取締役経営管理本部長 長谷川 哲也

(TEL:03-3551-2180)

平成 29 年 3 月期 通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ並びに 営業外費用、特別損失の発生に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 29 年 3 月期の通期個別業績との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	750	△14	△54	△148	△27.91
当 期 実 績 (B)	879	180	54	△66	△11.60
増 減 額 (B - A)	129	195	109	82	—
増 減 率 (%)	17.2	—	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、前事業年度末に廃止した人材派遣事業の売上高（前事業年度は 45,150 千円）の剥落等の影響があったものの、メタボローム解析事業において、食品・製薬分野を中心として受注が堅調に推移し売上が伸長したことから、大幅な増収となりました。

利益面につきましては、前述の売上高増加に加え、大うつ病性障害バイオマーカーの実用化・事業化を加速させることを目的として、当社の連結子会社（HMT バイオメディカル株式会社）に研究開発投資を集約した影響等により、個別業績における営業利益・経常利益が黒字化いたしました。また、当期純利益につきましても、下記 4. に記載のとおり投資損失引当金を計上したこと等から赤字ではあるものの、前年よりも赤字幅が縮小しました。

3. 営業外費用の計上について

当社の連結子会社である Human Metabolome Technologies America, Inc. 及び HMT バイオメディカル株式会社に対する貸付金に対して、いずれも 100%子会社への貸付金であり、その回収可能性はグループ内の政策的判断に拠る部分が多いことを勘案し、個別財務諸表における健全性の観点から、貸倒引当金繰入額 131 百万円を営業外費用として計上しております。

なお、当貸倒引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

4. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である HMT バイオメディカル株式会社に対する投資について、大うつ病性障害バイオマーカーの実用化・事業化の進展により中長期的には投資価値が増大するものと見込んでおりますが、現時点ではその規模や時期等を客観的に判断することが困難であるため、個別財務諸表における健全性の観点から、投資損失引当金を計上することとしました。これに伴い、投資損失引当金繰入額 100 百万円を特別損失として計上しております。

なお、当投資損失引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

以上